

臨地実習（在宅看護学 / 高度実践コース）

[実習] 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○竹生礼子[take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]
川添恵理子[e-kawa@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

在宅看護基礎的実習

専門看護師が所属する事業所において、専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものかを見学および実践により理解する。

【学修目標】

専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものか理解する。

専門看護師が、多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）、終末期にある療養者に看護を提供するにあたり、在宅看護スペシャリストが果たす役割について、事例を通じて実践的に学ぶことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	1. 専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものか、指導者をシャドウイングすることにより理解する。 2. 専門看護師が、多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）、終末期にある療養者に看護を提供するにあたり、在宅看護スペシャリストが果たす役割を学ぶことができる。	竹生 川添
	実習方法	・臨床指導者にシャドウイングし、専門看護師の6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とは何か、6つの能力を果たすためには何が必要かを考察する。 ・実習後、実習レポートを作成する。	
	実習場所	訪問看護ステーション（医療法人 耕仁会 訪問看護ステーションやまのて） 在宅療養支援診療所（札幌医療生活協同組合 ホームケアクリニック札幌）	
	実習期間	多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）への看護場面、終末期にある療養者への看護場面につき各1週間、合わせて概ね2週間とするが、課題達成していない場合には延長する。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成状況（40%）、実習レポート（60%）

【教科書】

特になし

【参考書】

適宜紹介

【学修の準備】

実習目的を明確にし、実習計画を立案する。文献検討や実践の中から浮かび上がった疑問・課題をまとめておくこと。